

輝く未来へ 2020年が開幕!

この一年、暮らしに安全・安心を届けるため、区民の皆様と正面から向き合い、共に語り、共に歩みながら直面している課題解決に全力で取り組んでまいります！
そして、希望あふれる、輝く未来の実現をめざし走り続けてまいります！
本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。
令和2年1月



■発行所：港区高輪 4-14-7-201 ■発行日：2020年1月1日 ■TEL:03-3440-6209

215
項目

区議会公明党「令和2年度予算要望書」を港区長に提出！



港区議会公明党は昨年11月1日、令和2年度予算編成に向けて、区民からの声や区が取り組む諸課題について215項目にわたる予算要望書を武井港区長に提出しました。

- 安全・安心(31項目) ●地域・商店街振興(15項目) ●若者施策(5項目)
- 子育て・障がい者・高齢者福祉(60項目) ●健康・医療、DV(28項目)
- 環境施策(18項目) ●学校教育(21項目) ●スポーツ・文化芸術(6項目)
- 地域交通の充実(8項目) ●住宅施策(4項目) ●地域コミュニティ(5項目)
- その他(14項目)

実績

みなさまの声がカタチに！ 実現に向け推進してまいりました！

未利用食品、区内地域で活用実現！

「フード・ドライブ」に寄せられた未利用食品を地産地消の観点から、区内の「社会福祉団体」などへ提供する仕組みを提案。
その結果、昨年12月1日より、生活福祉部門と連携して未利用食品を提供する事業が実現！



認可保育園前にガードポール設置！

保育園に通う児童の安全を守るため、ガードポールの設置を求めてまいりました。その結果、太陽の子芝浦一丁目保育園前の道路一帯にガードポールの設置が実現しました！



医療的ケアを含めた重度障がい児保育事業が開始！

令和2年1月、医療的ケア児や重度障がい児の専用クラスを備えた区立元麻布保育園が開園。
生涯にわたるライフステージに応じた支援の保育事業が実施されます！



港区独自のパートナーシップ制度導入へ！

性的マイノリティの方なども含め、誰もが人生を共にするパートナーと家族として暮らすことができる人権を尊重し、区が受け止める制度(仮称)「みなとマリアージュ」の条例素案が示されました。



重度障がい者の入所施設が新設！ 100床の特養も！

身体・知的の重度重複障がい者を対象とした入所施設が、令和2年3月南麻布の複合施設内に新設。同施設には、100床の新たな特別養護老人ホームも本年4月に開設されます。



第4回 定例会 代表質問

港区議会定例会が昨年11月27日～12月6日までの会期日程で開会。「代表質問」で取り上げました！



港区基本計画の取り組みを問う



■現行の港区基本計画6年間最終年度の総仕上げを！

- (Q) 令和2年度は、現行の基本計画最終年度を迎え、総仕上げにあたり区民に掲げた約束をどのように果たしていくのか。
(A) 計画を確実に実行する予算を編成し誰もが安全に安心して暮らすことができる地域共生社会を実現していく(区長答弁)

■次期、港区基本計画の展望を問う！

- (Q) 来年度は、次期港区基本計画の策定期間となり、向こう6年間の将来をどのように見据え策定に取り組んで行くのか。
(A) 将来需要に対応した施設整備や安心と安全を守る防災対策の充実など万全な計画を練り上げていく(区長答弁)

令和2年度予算編成について区の考え方を問う！

- (Q) 区を取り巻く環境が大きく変化していく中、区民の暮らしを守る観点から、来年度予算にける区長の思いを問う。
(A) 区の課題解決に向けて取り組み、次の時代に広がる予算として編成していく(区長答弁)



適正な事務を執行するため内部統制制度の導入を！

- (Q) 事務執行に係わるリスクを予め把握し未然に適正な執行を確保することを目的とした内部統制制度をどのように進めていくのか。
(A) 内部統制制度を総合的に推進し区政の公正性・公平性・透明性を確保する(区長答弁)



東京2020大会を共感できる観戦場所の提供を！



■身近な場所での「パブリックビューイング」の設置を！

- (Q) 「パブリックビューイング」については、区内各地に設置するなど誰もが身近に参加できる工夫が必要では。
(A) 町会・自治会などの地域団体も実施できることから、多くの区民が大会を身近に観戦できる取組を推進していく(区長答弁)

■子どもたちが参加できる「コミュニティライブサイト」の設置を！

- (Q) 「コミュニティライブサイト」については多くの子どもたちが参加できる仕組みを検討し観戦機会の提供に努めていくべき。
(A) 競技中継のほか、伝統芸能の披露や音楽イベント等を実施し、楽しむことができるよう工夫してまいります(区長答弁)

「SDGsWeek・エコプロ2019」展示会を視察



昨年12月5日、東京ビックサイトで開催された「エコプロ2019 展示会」に視察を兼ねて行って参りました。最近、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みが広がりを見せる中、SDGsに関連したテーマで推進する企業や団体、大学等が取り組んでいる展示ブースに興味を持って説明を受けてまいりました。SDGsへの取り組みは、私も何度か議会で取り上げ港区行政として取り組むべき必要性を質問し訴えて参りました。これからも2030年までに持続可能な社会を目指し推進してまいります。



自治体の先進事例を視察

総務常任委員会では、昨年11月6日～7日仙台市と札幌市を視察

- 仙台市:「RPA」の取り組み
- 札幌市:「胆振東部地震の復旧・復興への取り組み



<仙台市視察>

行政のICT化の一環として「RPA」の導入に向けて積極的に実証実験を行っている仙台市の取り組みについて視察を行いました。

<札幌市視察>

平成30年9月に発生した胆振東部地震における復旧・復興に向けて札幌市の取組を勉強してまいりました。

